



だっこするよ

平成30年9月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台 1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

避難訓練の愛言葉 「何があっても生きて帰る 生きて帰す」

9月1日は、防災の日、先日の西日本豪雨でも甚大な被害が出ました。被災された皆さんには心よりお見舞い申し上げます。昨今の自然災害は、規模が大きく、日本全国何処で災害に遭うか分かりません。改めて災害への備えを行い、防災への力を高めていかなければと考える次第です。何事も備えあれば憂いなしですね。避難訓練の愛言葉は「何があっても生きて帰す」その気迫でこどもたちとの訓練を行っていきます。どんなときでも自分の命を守れるこどもに育てるため日頃からの何をすればよいのか?園の防災管理への意識を深め、安全安心の保育を提供していきたいと思います。

年間非常災害訓練計画表(1階2階掲示板)を立て時間帯を変えて行っています。8月は午睡中でした。放送がかかり、まだ眠そうにしているお子さんもいましたが、信頼している保育士の声掛けに第一避難場所(園庭)まで避難することができました。避難を開始して4分48秒、全園児の避難が完了しました。2階と1階のテラスから次々と真剣に避難する姿を見ると毎回胸がいっぱいになります。赤羽台保育園での愛言葉は、「何があっても生きて帰す」です。「何があっても生きて帰るよ。お父さんお母さんの下に生きて帰るよ。」と話すと一人ひとりがしっかりと頷いていました。こども自身が訓練の意味を理解して、意識していくように一回一回伝えています。こども達の真剣な顔、顔、顔。小さなひよこさんも聞いていました。うちの子たちは、どんな時も自分の命を守れる人に育ちます。

保育園では以下の3点の充実に特に力を入れて参ります。

1、防災に対する保育の充実

こどもたちの発達に合わせた安全教育を毎月の避難訓練を通して行い、命の尊さを伝えます。こども自身が主体的に行動できるように、訓練の意味付けと身を守ることの方法を練習します。

2、地域社会、保護者との連携

地域社会、自治会の皆さん、保護者と情報を共有して、こどもの安全を守ります。

3、施設、設備の整備充実、職員研修の充実

安全点検をはじめ、職員の防災教育の推進・危機管理マニュアル等の共通理解を深めると共に、園内研修として毎年、赤羽台消防署の協力を得て、消火器訓練、応急法の訓練心肺蘇生法を学んでいます。

地球温暖化の影響から異常気象が頻発しています。また、3・11のような大災害はいつ起るか不明です。ご自宅にも水や食料の備蓄をされていますか?避難場所はどこか、連絡を取り合う手段など話し合っておきましょう。提出していただいている家庭状況調査表の緊急連絡先、非常災害時の園児引渡しについて変更がある場合、また、お仕事がお休みの場合や通常と違う勤務の場合は、毎朝の受け入れ時に、必ずその日の連絡先をお伝え下さい。また、交通網の麻痺など帰宅困難時は、先ずはご自身の安全を第一に行動され、お迎えにいらしてください。また、暴風雨など警報が登園前に出ている場合は、家庭保育に御協力をお願いします。お迎え時も同じく(延長時間に入りますと料金はかかります)安全が確認できてからのお迎えをお願いいたします。

安心安全こそがこどもたちの最善の利益ですね。どうぞ宜しくお願いいいたします。

※写真は8月29日の午睡時間帯での避難訓練時の様子です。眠かったかな?でも直ぐに避難できました。